



全国大会が開かれる札幌市のシンボル「さっぽろテレビ塔」

2024年 第102回 全旅連全国大会 in HOKKAIDO

令和6年6月19日(水)

式典・懇親会 札幌パークホテル

令和6年6月18日(火)

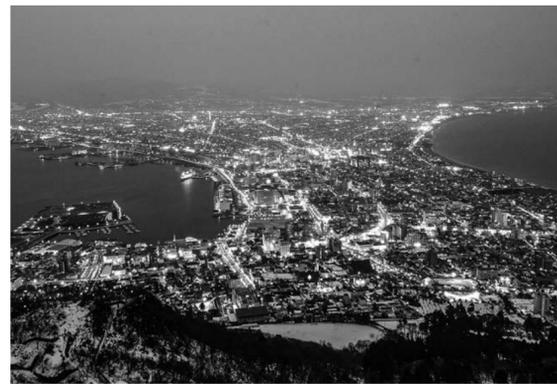
通常総会・前夜祭 定山溪万世閣ホテルミリオネ



青い池(美瑛町)



知床観光船(斜里町)



函館山からの夜景(函館市)

会長あいさつ

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

会長 井上 善博



第102回全旅連全国大会の開催にあたり、全国の組合員の皆様にご挨拶申し上げます。まずはじめに、この場をお借りして、本年元日に発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、被災した宿泊施設、地域への支援策については、全旅連としても関係議員、関係省庁の皆様が被災地の現状を踏まえた支援の必要性を訴えてまいりましたが、「なりわい再建支援事業」による施設等の復旧費用の補助、風評対策としての「北陸応援割」の実施、などを実現して頂きました。関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

さて、昨年6月に第11代全旅連会長に就任してから早一年が経過しました。コロナ禍で蒸発してしまったインバウンド需要が、今年に入ってからは単月で過去最高の300万人を超える数字を記録するなど、宿泊観光業界全体を取り巻く環境は、今、追い風が吹いていると言えます。個々の地域、そして、宿泊施設によって状況は様々なことは承知していますが、今を以て業界改革を進める機会はないと考えています。

我々宿泊観光産業が抱える課題は、生産性・収益性の向上、人手不足問題への対応、頻発する自然災害への対応など、どれも一筋縄ではいかないものばかりです。しかし、こうした課題を着実に解決していき、宿泊観光産業が持続可能で稼げる産業へと変革し、そして、業界全体の地位向上を図ることは、絶対に成し遂げなければいけません。それは決して楽な道のりではなく、道半ばでは様々な困難を伴うでしょう。しかし、この業界にはどんな困難をも乗り越える底力があると私は確信しています。そんな底力を私が見たのが、能登半島地震における業界全体の対応でした。

能登半島地震では、我々の仲間の宿泊施設も数多く被災しました。しかし、こうした被災した宿泊施設においては、自らが苦しい状況ながらも、避難者の受け入れを行うなど、宿泊施設としての社会的使命を必死に果たそうとしていました。また、被災地域外の宿泊施設においても、二次避難者の受け入れの協力表明するとともに、被災した宿泊施設を助けるための義援金などの支援活動を積極的に行いました。まさにこれが、我々宿泊観光業界の底力に他ならないのではないのでしょうか。

私は全旅連会長に就任以来「宿泊観光産業を我が国の基幹産業に」、「宿を核とした地方創生の実現を」ということを申し上げてまいりました。これは、我が国が観光立国を目指す中においては、我々宿泊観光業界の果たすべき社会的責任です。引き続き、私は、宿泊観光業界の改革、そして発展のために全力で取り組んでまいります。

また、温泉文化の価値を国内外に広め、観光資源・文化資源としての魅力を高めていくため、今、「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組が進められています。全旅連としてもその取組に全面的に協力してまいります。

実行委員長あいさつ

第102回全旅連全国大会実行委員長

北海道ホテル旅館生活衛生同業組合理事長 西海 正博



第102回全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会の全国大会が20年振りに札幌で開催するにあたり、全国から大勢の組合員の皆様にご参集いただき、ここ札幌市にお迎えできますことは、北海道ホテル旅館生活衛生同業組合を代表し、改めて心より歓迎の意を申し上げます。

宿泊業界を取り巻く環境は、3年にわたるコロナ禍を経験し経営の不況下にあり、今なお低迷の極にあり、国内旅行もインバウンドも穏やかな回復の兆しは見えてきておりますが、この3年間のブランクを取り戻すことは並大抵のものではありませんし、不安材料が無くなった訳でもありません。

本日、ここに全国の仲間が一堂に結集し、私たち宿泊業界の将来像を真剣に考え、健全な競争基盤の維持と組織の力で、組合員の意識と地位の向上を更に築き上げるとともに、業界自らが懸命な経営努力を積み重ね、今こそ組合組織の活性化と一層の組合員相互の連帯感を高めて行かなければならない重要な時であると考えます。

北海道の6月は花が一斉に咲き誇る緑豊かな季節です。長い冬を終えた北の大地「北海道」が春から夏に向けて大いに盛り上がりを見せ、野も山も明るい新緑に染まり、ライラックやスズランが咲き誇る素晴らしい季節であります。さらに、新鮮で美味しい山海の珍味に恵まれた数々の食の資源があります。そして道内各地には豊富な温泉があり、その温泉を「温泉文化のユネスコ無形文化遺産登録」に向けた活動が今繰り広げられているところです。

是非、この機会に道内各地を観光し北海道の個性豊かな文化・歴史を堪能していただき、意義ある思い出深い北海道大会になるよう願ってやみません。

なお、今回のテーマである「新たな旅のステージ」に向かって、この北海道大会が新しい観光の時代へと向かって、希望と活力を湧き立たせる大会になればと心から念じております。

結びに、本大会へのご参集に重ねて御礼申し上げますと共に、皆様のご健勝と益々のご繁栄を祈念して、歓迎のご挨拶といたします。

全旅連保険は

「万一の場合に宿泊・利用客に対して十分な補償をすると共に、旅館・ホテルの経済的な負担の軽減に寄与する」ことを目的としています

保険のご相談は

全旅連保険相談室 0120-087-484
(平日09:00~17:00)で承ります

事故のお受付は

東京海上日動安心110番 0120-119-228
(24時間365日)で承ります

全旅連保険代理店

全旅連事業サービス株式会社

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5

TEL 03-3263-4429 FAX 03-3263-0220